



みんなの輪通信



@MINNANOWA_OFFICIAL



<https://www.minnanowa.org>



vol.112 発行 2026年4月27日

《編集発行》社会福祉法人みんなの輪 〒981-3602 宮城県黒川郡大衡村大衡字鏡沢12番54 TEL(本部直通):080-2205-1820

理事長挨拶



理事長 仲野谷 仁

新年度がスタートしました。社会情勢が不安定な中、あらためて「命」や「暮らし」について考える機会が多くなっていると感じております。私たちの仕事は、日々の暮らしを支え、その人らしく生きることをサポートする仕事であり、その大切さを改めて感じております。

さて、当法人では相談支援体制のさらなる充実を図るため、2026年4月より「るーぶ大郷」と「るーぶ大衡」を統合し、新たに「るーぶレアリゼ」としてスタートいたしました。今回の統合は、業務の効率化だけでなく、地域の皆さまへの支援をより良いものにしていくことを目的としています。これまでどおり両町村での支援体制を大切にしながら、5名の相談支援専門員が連携し、地域に根ざした支援を続けてまいります。また、事務作業をまとめることで職員がより支援に向き合える環境づくりも進めてまいります。

フランス語で「るーぶ (rêve)」は夢、「レアリゼ (réaliser)」は実現するという意味があります。「るーぶレアリゼ」という名前には、「夢を実現する」という思いを込めました。私たちは、利用される方一人ひとりの思いや願いを大切に、その人らしい暮らしにつながるよう、これからも寄り添いながら支援を続けてまいります。

本年度も、地域の皆さまにとって身近で頼りになる存在であり続けられるよう、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

みんなの輪 ホットニュース

「ひなた農場」が ノウフク・アワード2025 フレッシュ賞を受賞！



あいあいファームわ・は・わ田尻の「ひなた農場」が、農福連携等応援コンソーシアム（農林水産省をはじめ関係省庁・関係団体で構成）が主催する「ノウフク・アワード2025」において、フレッシュ賞を受賞しました。フレッシュ賞は、優れた農福連携の取り組みの中でも、取組開始5年以内の団体を評価する、いわば新人賞にあたる賞です。

今回の受賞では、工賃向上への取り組みをはじめ、地域の養豚業の継承、学校給食への豚肉提供などの地域貢献、さらに廃棄前パンの活用による循環型の取り組みや国産飼料の使用などが評価されました。

表彰式は東京で行われ、職員2名と利用者5名で出席。晴れの舞台で受賞の喜びを分かち合いました。今回の受賞は、現場の職員や利用者の皆さん、学校給食センターなど地域の皆さま、そしてあいコープみやぎの皆さまとともに進めてきた取り組みの成果でもあります。今後も地域とともに歩みながら、農福連携の取り組みを進めてまいります。



＼東京へ授賞式に行ってきました！
＼初めての東京、楽しかった♪／

～オフショット～

＼これからも頑張ります！／



6次産業化、ブランディング、他業種連携等、口で言うのは簡単ですが実践して結果を残してきた受賞者の皆様のお話はとても身に染みる思いでした。何より、利用者さんたちの頑張りでの場に立てた事を誇りに思います。

ひなた農場 大内芳裕

